

令和5年度当初予算の編成方針

我が県では、平成11年の財政危機宣言以来、財政健全化を県政の最重要課題として位置づけ、これまで財政再建推進プログラムの策定や歳出構造改革の導入、事業総点検や事業棚卸しの実施をはじめ、みやぎ財政運営戦略（第3期）に基づく歳入歳出両面にわたる対策に取り組むことにより、厳しい財政状況にも対応した予算編成を行ってきました。しかしながら、社会保障関係経費の増加や公共施設等の老朽化対策のほか、新型コロナウイルス感染症への対応など、令和5年度も厳しい財政運営を強いられる見込みです。

「新・宮城の将来ビジョン」の3年目を迎えるに当たり、富県躍進を志向する取組の推進、若者の県内定着や子ども・子育てを社会全体で支える環境整備など、本格的な人口減少局面を見据え、次の世代を育成・応援する施策を重点的に推進していきます。また、あらゆる分野でのICTなどデジタル技術のフル活用に向け、社会や生活のこれまでの在り方を変容するDXへの投資や、頻発化・激甚化する自然災害に備え、防災・減災に向けた対策にも適切に対応していきます。

このため、財政の健全化・持続可能な財政運営に十分配慮しつつも、多種多様な財政需要に的確に対応できるよう、効率的かつ重点的な財源配分を実現する財政運営を行います。その際、中長期的なトータルコストを意識しながら、公共施設等の老朽化対策や働き方改革、行政の効率化などに要する経費については、費用対効果や事業効果を確認・検証した上で、適切に予算措置を行います。

令和5年度当初予算の編成に当たっては、「令和5年度政策財政運営の基本方針」で示された政策展開の方向性を踏まえ、国の財政支援制度の最大限の活用に加え、独自の財源も積極的・弾力的に活用しながら、引き続き徹底した見直しを行った上で、地方創生の推進や公共施設等の老朽化対策、自然災害対策など必要性や優先度が高いと認められる施策などを適切に予算化します。

また、新型コロナウイルス感染症や物価高騰への対応については、感染の広がりや地域経済の状況、国の地方財政対策の在り方を踏まえ、適切に対応していくとともに、復興の完了に向けては、被災者の心のケアなど実情に応じたきめ細かな対策への予算化を行います。

なお、予算編成に当たっての具体的な方法や留意点等については、令和5年度当初予算フレームを基に策定した別添「令和5年度当初予算要求要領」によることとしますが、今後の国の予算編成や地方財政対策の動向は、予算編成過程において柔軟に反映していきます。